

## 栄養学科で得られたもの

をしています。大学に入学した当時は、管理栄養士として病院や施設で働きたいと考えていましたし、今でも管理栄養士、栄養士として働く事には魅力を感じています。しかし、在学中に家具の量販店でアルバイトを経験した事で、相手とコミュニケーションをとりながら仕事を

する魅力に気がきました。家具を買いに来たお客様と会話しながら一相手の求めるサービスを提供するために、どの商品の提案が適しているか? どうしたら魅力が伝わるか? など、常に考えていることが楽しいなと思いました。

就職活動では、アルバイトを通して魅力を感じた、人との関わりが多い環境と、栄養士の資格を生かした職業に就きたいと考え、幼稚園の栄養士として就職しました。しかし、就職先では感染症の影響もあって、スタッフ以外の人と関わる機会が少なく、給食を提供している園児ともほとんど接することができなかつたので、あまり仕事に魅力を感じませんでした。

現在の家電の販売スタッフは多くの人と関わる上、自分の努力や成長が結果として目で見てわかるので、大変でも楽しいなど感じています。大学で勉強していると学科ごとに将来

の職種は決まってくると思えます。その職種に対して卒業が近くなるにつれてモチベーションが上がる人もいれば、あまり自分に向いていない、もしくは他の仕事がしたいと感じるかもしれないですね。

「高校生の時に思い描いた希望や夢を変更するのは弱い自分だ」と考えるか「高校生の時に一時的に考えた将来なんかは執われる必要はない」と考えるかは皆さんの判断ですが、長く続ける事ができるといふ点では、自分のやりたい、興味のある仕事に携わる事がおすすめです。私の卒業時から感染症の流行で大学生活や日常でも人と関わり合う機会が少ない状況ですが、限られた中でも多くの人と関わり、学生生活を充実したものにしてください。大学生活で得る沢山の経験や学びは全て自分の貴重な財産になります。在学生の皆さんを札幌から応援しています。

2019年度栄養学科卒業生

菅野愛奈



栄養学科を卒業して3年が経ちました。現在、私は札幌で家電の販売スタッフ